

国語 一一一	第三学年及び第四学年の内容 ことわざ	名前	年	組	番
-----------	-----------------------	----	---	---	---

次のことわざの意味としてふさわしいものをあとのアからオの中から選び、() の中に書きましよう。

- ① 急がば回れ () ()
- ② 石の上にも三年 () ()
- ③ 住めば都 () ()
- ④ 負けるが勝ち () ()
- ⑤ 善は急げ () ()

ア 急ぐときには、遠くても安全な道を行く方が、危険な近道をするよりも結局は早く目的地に着くというたとえ。

イ 相手に勝ちをゆずるほうが、最後は自分の得になることのたとえ。
ウ がまん強く努力すれば、必ず成功するというたとえ。

エ よいと思ったことは、ためらわないですぐに行ったほうがいいというたとえ。

オ 住みなれば、どんな場所であつてもそれなりに住みよくなつてくるというたとえ。

国語 二一	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 母はお祝いいはの日の料理りょうりでは、いつも以上いじょうに、 をふるう。

② 野球場やきゅうじょうにいる観客かんきやくは、彼の見事みごとな技わざに をまいた。

③ バスケットボール大会たいかいの本番ほんばんを前まえにして、 が騒さわぐ。

④ 何度なんども をはこんで、ようやく撮影さつえいすることができた。

血 <small>ち</small>	足 <small>あし</small>	うで	舌 <small>した</small>
--------------------	---------------------	----	---------------------

A 自分じぶんの前まえ・技能ぎのうを存分ぞんぶんに人ひとに見せる。

B あることのために、わざわざ出向でむく。

C 気持ちきもちが高ぶたかって、じっとしていらなくなる。

D あまりにもすぐれていて、ひどくおどろく。

国語 三十一	第三学年及び第四学年の内容 故事成語	名前	年	組	番
-----------	-----------------------	----	---	---	---

次の文の _____ の故事成語の意味としてふさわしいものをあとのアからウの中から選び、() の中に書きましょう。

① 背水の陣で試合にのぞむ。 () ()

② この賞は、作家になるための登竜門だ。 () ()

③ 彼はつねに和して同ぜずだった。 () ()

ア 失敗すれば、次はないことをかくごして、全力をつくして、仕事などにあたること。

イ 人と協力して、調和を保って行動するが、相手の機嫌をとるために、したがうようなことはしないこと。

ウ 出世をするための関門のこと。

国語 四—一	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

① かれの一言に（ ）。

② （ ）とむずかしい問題だった。

③ 古いアルバムを見て、（ ）顔を見つけた。

④ （ ）な五月の風。

⑤ オニから（ ）ににげまわる。

ひっし	意外	なつかしい	元気づけられる	さわやか
-----	----	-------	---------	------

国語 五—一	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の _____ の言葉の意味
を選び、線で結びましょう。

① 話を聞きながらあいづちを
うつ。
・ 相手を自分よりも下にみる。

② 草原であおむけに寝
た。
・ 相手の話に調子を合わせ、うな
ずく。

③ 考えに考えたあげく、行くの
をやめた。
・ ずうずうしい。

④ あつかましいにもほどがあ
る。
・ 上を向いた状態。

⑤ あなどると大変なことにな
る。
・ 結局。

国語 六一一	第三学年及び第四学年の内容 漢字と仮名	名前	年 組 番	取り組んだ日 月 日
-----------	------------------------	----	-------	---------------

1 漢字を使うことで読みやすい文になります。次の文を、あとの□の中の漢字を使って書き直しましょう。

① ははは、ははじょうぶです。

② きしやは、きしやできた。

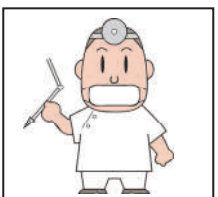
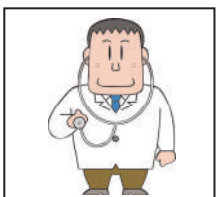
③ しやないでしやないのひとにこえをかけた。

④ にわにはにわにわとりがいる。

汽車、社内、記者、母、声、
歯、人、車内、庭、二羽

2 次の文を絵にあうように、あとの□の中の漢字を使って書き直しましょう。

① わたしはいしやになりたい。



② みんなはしっている。



歯医者、医者、
知って、走って、

国語 七一	第三学年及び第四学年の内容 送りがな・活用	名前	年	組	番
----------	--------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

「泳ぐ」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に
合うように直し、書きましょう。

- ① 犬が（ ）。
- ② 流れの速い川は、あぶないので決して（ ）ないこと。
- ③ 選手になりたいので、最後まで絶対に（ ）ます。
- ④ （ ）ときは、ゴーグルをしている。
- ⑤ あと二十五メートル（ ）ば、練習が終わる。
- ⑥ 「最後までがんばって（ ）」「と父にはげまされた。

国語 八十一	第三学年及び第四学年の内容 改行	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

次の文章を読んで、行を変えたほうがよいところを一か所見つけ、その部分に改行の印「┌┐」を書き込みましょう。

ひとみきぬえ たいしやう
人見絹枝は、大正十四（一九二五）年 にかいどうたいそうじゆく に二階堂体操塾（今の日本女子

体育大学）を十八さいで卒業 そつぎやう したあとも、新聞記者 しや として働きながら、

陸上競ぎ りくじやうきぎやう の練習 れんしゆう にはげんでいました。そして、さまざま ろく な競ぎ会に出

場し、すばらしい記録 ろく を残していきました。しかし、仕事をしながらの

練習は楽なものではありませんでした。仕事の合間に、二時間ほど練習

して、また仕事にもどります。ときには、夜中の一時まで仕事に取り組

むこともあり、つかれがたまつて、練習が思うように進まないこともあ

りました。

国語 九—一	第三学年及び第四学年の内容 語い③	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の [] に当てはまる言葉をあとの [] から選び、書きましよう。また、その言葉の意味をあとのAからDの中から選び、() に書きましよう。

① これからは [] な取り組みが評価される。()

② 正しく判断するために、[] な意見が聞きたい。()

③ 今年の大江戸小学校のバスケットチームは、他の小学校に比べて [] に強い。()

④ 割れたガラス窓をダンボールでふさいでも [] な解決にしかすぎない。()

一時的	あつとう的	組織的	客観的
-----	-------	-----	-----

A 他とはかけはなれてすぐれていること。

B 個々のものが、一定のきまりなどにしたがっているようす。

C その場かぎりで長続きしないようす。

D 個人の考えからはなれ、すべての場合にあってはまる考えをもっていること。

国語 十一	第三学年及び第四学年の内容 言葉のなかま分け	名前	年	組	番
----------	---------------------------	----	---	---	---

とく
とり
ぐん
だ
ひ
月
日

次の言葉を「物の名前を表す語句」「動きを表す語句」「様子を表す語句」に分けましょう。

自転車^{てん} 歩く つくえ 歌う^{うた}
 くるしい えん筆^{びつ} 暑い^{あつ}
 元気だ 便利だ^{べんり} 走る
 泳ぐ^{およ} 高学年 楽しい
 静かだ^{しずか} トマト 笑う^{わら}
 投げる^な ビスケット

物の名前を表す語句

動きを表す語句

様子を表す語句

国語 十一—一	第三学年及び第四学年の内容 主語、述語、修飾語	名前	年	組	番
------------	----------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の主語、述語、修飾語の部分にそれぞれ線を引き、主語の線の横には「主」、述語の線の横には「述」、修飾語の線の横には「修」を書き込みましょう。

- ① わたしは、校庭で 遊びました。
- ② 鉛筆が、机の 上 に ある。
- ③ ビスケットも おいしいよ。
- ④ 高学年の 教室は、とても しずかだ。
- ⑤ オリンピック、東京に 決定。

国語 十二—一	第三学年及び第四学年の内容 辞書	名前	年 組 番
------------	---------------------	----	-------

取り組んだ日 月 日

① 次の言葉が辞書に出てくる ② 次の文中の ③ 次の言葉が辞書
 順番を () () の中に書きましよう。
 じゅんばん
 ことば
 ことば
 じしょ
 いみ
 しら

- ① 算数 () ()
 - 国語 () ()
 - 理科 () ()
- ことば
いみ
てきせつ
えら
ばんごう
かこ
ししよう。

- ② 地面 () ()
 - 寺院 () ()
 - 人工 () ()
- せきにん
せき
た仕事なので、最後までふんばる。

- ③ 白夜 () ()
 - 冷や汗 () ()
 - 百貨店 () ()
- じしょ
いみ
辞書に書かれていた意味
- ① 足に力を入れてふみこたえる。
 - ② 他人の言うことにくつしたり
しないで、どこまでも自分の考え
を主張する。
 - ③ 気力を出してたえる。こらえる。

- ④ クリアー () ()
- くろあびぬ () ()
- クリーニング () ()

国語 十三—一	第二学年及び第四学年 修飾	名前	年 組 番
------------	------------------	----	-------

取り組んだ日 月 日

一 次の文の _____ の言葉は、どの言葉
葉をくわしくしているでしょうか。く
わしくしている言葉の横に線を引き
ましょう。

① 小学校5年生の 兄が いる。

② 青い空に 雲が うかんでいる。

③ わたしは 学校へ 行く。

三 次の文の _____ の言葉をくわし
くする言葉をあとのAからDの中か
ら選び、 に記号を書きまし
ょう。

① 枝に とまった 鳥が、

飛び立つ。

A 白い B とつ然

C 木の D ひっそりと

② 春の 遠足は

登ることに 決まった。

A あたたかい B すぐに

C 高尾山へ D 今年の

③ 家では 白い 犬と

黒い 犬を かけている。

A 元気に B となりの

C 来週の D ころころ

二 次の文の _____ の言葉を、くわし
くしている言葉の横に線を引きまし
ょう。

① 一郎は すいすいと 泳いだ。

② 二組の よしのさんは 足が速
い。

③ ぼくは 新しい 消しゴムを
買ってもらった。

国語 十四—一	第三学年及び第四学年の内容 「だれが」「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」「なぜ」	名前	年	組	番
------------	---	----	---	---	---

つぎ ぶんしょう
 次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。
 もんだい

ひでお
 英夫の家の近所きんじよには、小さな町工場がならんでいました。英夫は、しよく人さんの作業さぎようを見るのが好きで、学校から帰るとよく町工場に行きました。

また、英夫はベーゴマ遊びあそびが大好きだいすでした。負まけてしまうと相手あいてにベーゴマを取とられてしまうので、なんとしても強いベーゴマを作ろうと必死ひっしでした。

ある日、英夫は、ベーゴマを強くするために、しよく人ざいりようさんから材料ざいりようを分けてもらい、重おもくしようとして手くわを加えました。

(よし、試ためしてみよう。)

そう思って遊びに出ようとしたとき、三げんとなりの五郎ごろうが家をたずねてきました。五郎は、体が弱くて学校を休みがちな子でした。

学校に行くことができないため、英夫に勉強べんきようを教おしえてほしかったのです。

※東京都道徳教育教材集小学校三・四年生版「心しなやかに」の

「あの日をさかいに ―糸川 英夫―」より

- ① だれが登場とうじようしていますか。() () ()
- ② どこでの話ですか。() () ()
- ③ 英夫は何を作ろうと必死ひっしでしたか。() () ()
- ④ 五郎はなぜ英夫をたずねてきたのですか。() () ()

国語 十五—一	第三学年及び第四学年の内容 指示語	名前	年	組	番
------------	----------------------	----	---	---	---

とく
り
組
んだ
日
月
日

つぎ ぶんしょう
次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。
もんだい

その花の花びらに手をふれたまま、くき、そして地面へと目をうつしたとき、富
たろう
太郎はあることに気がつきました。

（そうか、小さな草でも、大きな草でも、みんな同じつくりになっているんだ。

花、くき、葉、根、—。

今までたくさん草を見てきたけれど、みんなそうだ。）

そのことに気がついた富太郎の心は大きく高鳴りました。

※東京都道徳教育教材集小学校三・四年生版「心しなやかに」の

「植物の不思議にひかれて — 牧野 富太郎—」より

もんだい
問題 「そのこと」とはどのようなことですか。

国語 十六―一	第三学年及び第四学年の内容 つなぎ言葉	名前	年	組	番
------------	------------------------	----	---	---	---

一 次の に「だから」「しかし」のうち、どちらかあてはまるつなぎ言葉を書き入れましょう。

① 毎朝、逆上^{さかあ}がりの練習^{れんしゅう}をした。 できるようになった。

② とてものがかわいた。 冷蔵庫^{れいぞうこ}に飲み物^{もの}がなかった。

二 次の に入るつなぎ言葉^{ことば}を、あとの1から4の中から一つ選^{えら}んで、その番号^{ばんごう}を書きましよう。

① デザートに、イチゴ、メロン、 ブドウが出た。

- 1 そして
- 2 それとも
- 3 なぜなら
- 4 それで

② よしのさんは、算数^{さんすう}が得意^{とくい}です。 体育^{たいいく}も得意^{とくい}です。

- 1 それに
- 2 だから
- 3 なぜなら
- 4 ところで

③ Tシャツの色は緑^{みどり}がよいですか。 紫^{むらさき}がよいですか。

- 1 そして
- 2 だから
- 3 それとも
- 4 それに

① moyashi

② natsumikan

③ rakkasei

④ suika

⑤ kon'ya

⑥ nichiyôbi

⑦ sansû

⑧ Harajuku

⑨ Koganei-shi

⑩ Negishi Seiko

次のローマ字をひらがなで表しましょう。

国語
十七ー一

第三学年及び第四学年の内容
ローマ字（読み）

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

次の言葉をローマ字で表しましょう。

① しか

.....
.....
.....

② きんぎょ

.....
.....
.....

③ らっこ

.....
.....
.....

④ しまうま

.....
.....
.....

⑤ ぜんいん
全員

.....
.....
.....

⑥ えどがわく
江戸川区

.....
.....
.....

⑦ きんたろう

.....
.....
.....

⑧ とうきょう

.....
.....
.....

⑨ なつみかん

.....
.....
.....

⑩ おかし

.....
.....
.....

国語 十九—一	第三学年及び第四学年の内容 漢字のへん、つくり	名前	年	組	番
------------	----------------------------	----	---	---	---

とく り 組 んだ 日	月	日
-------------------------	---	---

1 次の漢字の部首(濃い部分)の名前を()
の中に書きましょう。

① 校 ()

② 顔 ()

③ 草 ()

3 次の漢字の部首の部分を線で囲み、部首の名前を() ()の中に書きましょう。

① 花 ()

② 想 ()

③ 進 ()

2 次の漢字の部首(濃い部分)の画数を()
の中に書きましょう。

① 都 ()

② 筆 ()

③ 国 ()

4 次の文の□にふさわしい部首を書きましょう。

① かいちゆう電とうの
電□也をいれかえる。

② 今、何□時ですか。

③ □材料を買う。